

日本登山医学会認定山岳医研修会に登録されている皆さまへ

2013 年度「東京クラスタ II 高所登山トレッキング医学・山岳救助実践」が行われます。このクラスタは、2012 年度から新しく開始されたもので、一昨年まで「遠征医学・野外活動医学コース」で行われていた内容を 12 時間コースとして再編したものです。高所登山やトレッキングに関する医療の実際、山岳救助実践の現場の課題を、実際に起った興味深く新しい症例をワークショップ形式で深く検討する形で行います。なお sessionIII では、在日本ネパール大使館特命全権大使たる Dr. Madan Kumar Bhattarai 閣下より特別発言をいただきます（プログラム参照）。

2012 年度以降にエントリーされ国際認定を希望される方には必須となるクラスタです。また、2010,2011 年度にエントリーされた方もこれを受講する権利があります（事後課題は希望者のみ）。

またこのクラスタには事前に山岳医研修会に仮登録した看護師会員の参加が可能です。

2013 年度東京クラスタ II に参加ご希望の方は、参加費用をお振り込みの上、2013 年 11 月 1 日までに、この文書の第 3 ページ目を利用して、dimmtokyo2@jsmmed.org までお申し込みください（アドレスにご注意）。定員は 30 名です。定員に達し次第応募を締め切ります。

日本登山医学会山岳医講習会東京クラスタ II 運営責任者 増山茂

dimmtokyo2@jsmmed.org

■日時：2013 年 11 月 17 日（日）9:00-18:00

・場所：株式会社 ミウラ・ドルフィンズ

<http://www.snowdolphins.com/>

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-10-3

■受講費用：2013 年 11 月 17 日（日）全日 15,000 円。

（2013 年度の募集要項では、11 月 17 日と 18 日の両日に行うと発表していましたが、最終的に 11 月 17 日（日）一日で予定されたカリキュラムを総てこなすことにしました。その分タイトなプログラムになっています。）

■参加費用は、2013 年 11 月 1 日（金）までに、以下にお振り込みください。

振り込み者名が明確になるように、姓名+受講者番号+クラスタ名を記入してください。

（例えば、上小牧憲寛 26 トキヨ 2 などのように）

みずほ銀行 神田駅前支店 普通預金 店番号 009 口座番号 2296725

口座名 一般社団法人日本登山医学会 認定山岳医委員会

■各講師は独自の資料を用意する予定ですが、全体を通しての講義や実習におけるベーシックテキストは、

「登山の医学ハンドブック第 2 版」、杏林書房、2009

「High Altitude Medicine & Physiology 5th edition」、Edward Arnold; 2013

UIAA Official Standard http://www.theuiaa.org/medical_advice.html

とします。

■後日、講義全体に関する事後課題が課されることになります。

■昼食弁当の手配は行いません。各自ご用意ください。

■11月17日(日)講義終了後、ミウラドルフィンズ内で懇親会を行います(参加自由)。参加ご希望の方は参加申請時に申し込み下さい(参加費 3000円:当日徴収)。

■プログラム(一部未確定のところがあります)

東京クラスタII 高所登山トレッキング医学・山岳救助実践
2013年11月17日 於:ミウラドルフィンズ

0900-1020

I 現代登山遭難事情:日本そしてヒマラヤ登山トレッキング

1. スポーツに伴う死亡:ヒマラヤ登山はどれくらい危険か
増山茂(東京医科大学病院渡航者医療センター)
2. 最近の日本の山岳遭難プロフィールが変化しつつある
近藤幸夫(朝日新聞)

1030-1230

II 高所・寒冷などに関する実践的山岳遭難事例検討(ワークショップ)

1. 登山者検診ネットワークからみた問題ある循環器疾患患者症例
上小牧憲寛(国際医療福祉大学)
2. 青蔵鉄道ツアーに危険性はないか
ラサにて入院となり遷延性低酸素脳症が疑われた症例
高橋宏和(せんぼ高輪病院)
3. エベレストトレッキング中、急性腸間膜出血で死亡したと考えられる症例
原田智紀(日本大学医学部)
4. 睡眠時無呼吸症候群患者、高所滞在の問題点
増山茂(東京医科大学病院渡航者医療センター)
5. 国際医療搬送の現状:搬送形態・医療情報収集、最近の進歩
二宮宣文(日本医科大学多摩永山病院救命救急センター)

1330-1800

III 国際的 relationship(理論・ワークショップ)

シンポジウム 三浦雄一郎80歳、エベレスト登頂を可能にしたもの

総合司会 大城和恵(心臓血管センター北海道大野病院)

1. 三浦雄一郎隊の秘密:大城和恵(心臓血管センター北海道大野病院)
2. 前回エベレスト登山のHAPEは何だったのか;三浦豪太(三浦ドルフィンズ)
3. 山岳ガイドからみた80歳クライマー:倉岡裕之(山岳ガイド)
4. トータルマネージメントの勝利:貫田宗男(ウエックトレック)

特別発言 Dr. Madan Kumar Bhattarai 在日本ネパール大使館特命全権大使

参加申請書

2013 年度「東京クラスタ II 高所登山トレッキング医学・山岳救助実践」
に参加します。

e-mail to dimmtokyo2@jssmed.org or FAX to 03-6868-6484

受講者番号 _____ 氏名 _____ 申し込み日 2013/ _____

参加費

2013 年 11 月 17 日（日）に参加します

15,000 円。（事前振込）

・ 上記参加費を振り込んでください。

➤ 以下の銀行に振り込みました（ 月 日）

みずほ銀行 神田駅前支店 普通預金 店番号 009

口座番号 2296725

口座名 一般社団法人日本登山医学会 認定山岳医委員会

（振り込み者名が明確になるように、姓名＋受講者番号＋クラスタ名を記入してください。）

（例えば、上小牧憲寛 26 トキヨ 2 などのように）

・ 懇親会参加の有無

11 月 17 日（日）の懇親会

3,000 円（当日支払）

出席 ・ 欠席